

3/30-4/5 #41 命の木: I. 命としてのキリストは、命の木の実際であり、命の木は宇宙の中心です。命は、神の創造の目標であり、神の全体的な救いの目標です。創2:9 エホバ・神はその土地から、見て喜ばしく、食べるのに良い、すべての木を生えさせ、さらに園の中央に命の木と、善悪知識の木とを生えさせられた。

A 聖書で、命の木は常に、私たちの食物のための、神のすべての豊富の具体化であるキリストを表徴します。神が人を命の木の前に置いたことが示しているのは、人が神を有機的に食べ、新陳代謝的に吸収することによって神を人の命として受け入れるのを、神が願っているということです。それは、神が人の存在の構成要素そのものとなるためです。B 啓示録2:7で、命の木は、十字架につけられ(一片の木材としての木において暗示される...1ペテロ2:24)、復活した(神の命において暗示される...ヨハネ11:25)キリストを表徴します。彼は今日、召会の中におり、召会の究極的完成は新エルサレムであって、その中で十字架につけられ復活したキリストは命の木であり、神のすべての贖われた人を養い、永遠に至ります。

II. 私たちは、神の命が人の中で出遭う障害を見る必要があります

A 神の命が私たちの中で出遭う第一の問題は、私たちが自分の人の観念の暗さを認識していないということです。1 私たちが見る必要があるのは、クリスチャン生活において重要な唯一の事が、私たちの中の生けるキリストを、私たちがどのように顧慮するかということです。2 クリスチャンであるとは、キリスト以外のどんなものも私たちの対象にしないことを意味します。多くの人々が救われた後に、霊的な命の上で問題を持つのは、彼らが命の道を認識しておらず、キリストを命としていないからです。B 命が私たちの中で出遭う第二の問題は、偽善です。1 人の霊性は外側の現れによってではなく、彼がどのようにに内住するキリストを顧慮するかによって決まります。2 私たちの天然の良さは偽りの霊性であり、それは実は命にとって大きな障害です。命の表現は、私たちの天然の性情と好みを拒絶して、単純になってキリストに私たちの中で活動していただき、私たちを砕いていただくことと関係があります。3 もし私たちが、いつも自分の性情と天然の存在にしたがって物事を行なうのであれば、その結果はいつも偽善です。C 命が私たちの中で出遭う第三の問題は、反逆です。1 キリストが私たちの中で活動し行動するのは、私たちに対する彼のみこころと要求について、また彼が私たちを導いて対処することについてはっきりとさせるためです。2 しかしながら、もし私たちが内側の感覚に服従せず、逆らい、彼の導きを受け入れず、代価を払わないなら、このように反抗することや反対すること

は、反逆です。3 私たちが最もしばしば、また最もひどく犯す罪は、外側の見えるものではありません。そうではなく、私たちの中のキリストの感覚に服従しないという罪です。キリストは私たちの中に生きており、絶えず私たちに命の内側の感覚を与えています。D 命が私たちの中で出遭う第四の問題は、私たちの天然の能力です。1 多くの兄弟姉妹は真に主を愛しており、主のために熱心であり、とても敬虔です。それにもかかわらず、彼らの最大の問題は、彼らの能力と才能が強くて大きいことです。結果として、キリストは彼らの中で地位や道を持ちません。2 私たちは有能で能力があるかもしれませんが、これらのものを罪や汚れと考えていません。私たちは自分の天然の有能さを軽べつするのではなく、それらを尊んでいます。もし彼らが私たちの中で砕かれないうままであるなら、それらはキリストの命にとって問題となります。E 私たちの中のこれらすべての障害に対して、一つの解決があります。すなわち、私たちは十字架を経過し、十字架に私たちを砕いていただかなければなりません。キリストの命が私たちの中で妨げられないことを願うなら、私たちは十字架の砕きを経験して、これらの障害が対処され、取り除かれるようにしなければなりません。III. 私たちは命の木としてのキリストを食べるために、すべての事で彼を第一位としなければなりません。それは初めの愛をもって彼を愛し、彼の愛に押し迫られ、彼を尊重し、彼を私たちの生活の中であらゆるものとするということです。A 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、命の木としての彼を食べることです。命の木としてのキリストを食べること、すなわち、私たちの命の供給としてのキリストを享受することは、召会生活における主要な事柄であるべきです。B 召会生活の内容は、キリストに対する享受にかかっています。私たちが彼を享受すればするほど、その内容はますます豊かになります。しかし命の木としてのキリストを食べること、彼を私たちの命の供給として享受することは、初めの愛をもって彼を愛することを必要とします。C 一方で、厳密に言って、啓示録2:7における神のパラダイスにある命の木から食べることは、来たるべき千年王国における新エルサレムで、キリストを私たちの命の供給として特別に享受することを指しています。D もう一方で、私たちは、十字架につけられ復活したキリストを、命の木、すなわち私たちの霊の中の食物の供給として、召会生活における今日の前味わいとして享受しています。あらゆる地方召会は神のパラダイスであり、そこではキリストが、私たちが享受する命の木です。E 私たちがすべての事で主を第一位とし、十字架につけられ復活したキリストを、

命の木として食べることを一日中、維持するとき、召会は、その状態がどのようであっても、私たちにとってパラダイスとなります。こういうわけで、召会に対する私たちの感覚と態度は、私たちの状況にかかっています。【F】もし私たちが今日、召会生活の中で命の木としてのキリストを享受しないなら、王国時代に命の木にあずかることは確かにありません。私の経験によれば、今日アナハイムに在る召会は、私にとってパラダイスです。【G】召会の荒廃と墮落の内在的な理由は、キリストが神の民によって高く上げられていないことです。彼らはあらゆることで彼を首位、第一位としていません。神の民が彼らの生活のあらゆる面でキリストを高く上げ、彼を首位とするときはいつも、回復と復興があります。【H】キリストは、私たちの生活においてだけでなく、私たちのすべてのメッセージにおいても第一位を持たなければなりません。「私たちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、キリスト・イエスを主と宣べ伝え、また、私たち自身がイエスのためのあなたがたの奴隷であることを宣べ伝え[ます]」【I】私たちは自分の働きにおいて、絶えず人々を中心に引き戻して、彼らに「キリストが主である」ことを見せるべきです。私たちは主イエスに、御座の上の場所を与えなければなりません。【2】そのようなメッセージを与えるために、私たち自身が神によって砕かれ、キリストに私たちの中で第一位を持っていただくようにしなければなりません。私たちのメッセージは、まさに私たちのパースンです。【3】主の「よくやった」は、この世のすべての称賛にまさります。天の笑顔は、地のすべての怒った顔にまさります。天の慰めは、地のすべての涙にまさります。【4】私たちはすべての事でキリストを第一位とするために、私たちの王である彼に対して、愛情のこもった愛を持たなければなりません。そのとき、私たちの舌は、速やかに物書く人の筆となり、彼に対する私たちの愛と、彼に対する私たちの賛美を、彼であるすべてにしたがって、彼に対する私たちの経験と享受をもって、速やかに書きます。【5】初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、彼を私たちの中心性(私たちを保持する中心)、また私たちの普遍性(私たちのすべて)とすることです。私たちは彼を、私たちの個人的な宇宙の中心、内容、円周とする必要があります。【6】初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、彼の麗しさを見つめ、私たちのクリスチャン生活と働きのあらゆる詳細において、エホバの助言を求めることです。【7】初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、私たちのミングリングされた霊によって管理され、支配され、指示され、導かれ、動かされて、彼の

とりことなることによって、また「主よ、私を征服してください。私をあなたのとりことしてください。決して私に勝たせないでください。絶えず私を打ち破ってください」と祈ることによって、私たちの霊の中の安息を顧みることです。【M】初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、畏るべき水晶のような澄み渡った空と、その上に神のサファイアの御座を持つことです。これは、私たちと主との間に何もなく、私たちが彼の支配する臨在の天的な雰囲気、状態、状況で満たされ、彼を私たちの王とし、彼に私たちの内側で統治し、王として支配していただくことを意味します。【N】地上で王として支配する王なるキリストだけが、王職における彼の助け手としての勝利者たちと共に、今日の世界の問題を解決することができます。キリストの御名は、すべての世代で覚えられ、彼の勝利を得た、また共同で王として支配する聖徒たちを通して、諸国民によって賛美されます。【O】シオンによって予表される勝利者たちは足がかりであり、それを通して主は戻って来て全地を所有します。【P】詩24:7 城門よ、あなたがたの頭を上げよ。長く耐え忍ぶ戸よ、上げられよ。栄光の王が入って来られる。8 栄光の王とはだれか? 強くて力あるエホバ! 戦いに力あるエホバ!...10 その栄光の王とはだれか? 万軍のエホバ。彼こそ栄光の王! 【1】城門は諸国民の都の城門です。戸は民の家の戸であり、キリストはすべての諸国民の願いです。すべての諸国民は、一般的な方法で、キリストが来ることを期待していますが、キリストは私たちの人の観念にしたがってすぐに来るのではありません。こういうわけで、私たちは自分の頭を上げ、長く耐え忍んで彼の来臨を期待する必要があります。【2】栄光の王は万軍の(すなわち、軍隊の)エホバであり、打ち勝つ勝利を得たキリストに具体化された、究極的に完成された三一の神です。エホバはイエスであり、イエスは、肉体と成り、十字架につけられ、復活した三一の神であって、彼は戦いに強く、勝利を得ます。【3】彼は、復活の中で、彼の勝利者たちと共に戻って来て、全地を彼の王国として所有する方です。【4】キリストは神の御座にいる方として、赤めのう(その赤色は贖いを表徴する)と碧玉(その深緑色はその豊富における命を表徴する)の外観を持っています。こういうわけで、私たちはキリストの頭首権に服従し、彼の御座の下にいるとき、彼の法理的な贖いと有機的な救いにおいて彼であるすべての益を受ける者となり、豊富な命における栄光の神と同じ外観を帯びます。【5】キリストの贖う血で自分の衣服を洗う者は、聖なる都、神のパラダイスにおいて、命の木を享受する権利を、彼らの永遠の分け前として持ち、永遠に至ります。